

長引くマスク生活の口腔環境を改善したい！北海道産素材とキハダの実からのど飴「MINAMINA（ミナミナ）」を薬剤師が開発

薬剤師であり、札幌の化粧品販売会社(株) The St Monica の代表取締役七戸 千絵は、古くからアイヌの養生食として大切にされてきた「キハダの実」を成分としたのど飴を開発販売しました。飴は小樽の飴谷製菓株式会社が製造。容器のデザインはウポポイの壁画や丸井今井札幌本店の紙袋のデザインも手掛ける刺繍家の津田命子さんのご協力と、素材のキハダについては、北海道科学大学と共同研究開発いたしました。5 月より販売を開始します。



○飴はハスカップの紫の色 白樺樹液のまろやかな甘みと、甘草のカロリーを抑えて甘さを出す特徴と、キハダの実のピリリとする刺激が、丁重に作られた飴の層からゆっくり味わえます。

【アピールポイント】

1. のど飴は、アイヌ民族に愛されてきたキハダの実「シケレベ」、甘草、ハスカップ、白樺樹液などの北海道の恵みで作られています。
2. 缶ふたの文様は、アイヌ刺しゅう文様研究第一人者 津田命子さんにデザインして頂きました。
3. 北海道科学大学「北の大地ライフサイエンス創生研究所」と、飴の原料であるキハダ木部、皮、キハダの実の成分調査ならびに、キハダ活用の歴史について共同研究を行いました。
4. 白樺の別名「母」とセントモニカの会社理念の「母＝大地」に基づき、北大名誉教授寺澤実氏の指導のもと、白樺樹液の商品開発を創業より行う。薬学と民間の食文化をコロナ禍でも健やかに過ごせるよう、今回の商品開発となりました。

【キハダの実とアイヌについて】

のど飴に使用したキハダの実は、アイヌ語で「シケレベ」といい、古くからアイヌの養生食とされ、気付けの役割、カゼや体調不良などから体を守るために常備食として乾燥保存し、1年を通して食されています。

【キハダの実の特徴】

キハダの実は山椒にも似た心地よいスパイシーな刺激と森のにおいを凝縮したような香りがあります。成分は殺菌、静菌、のどの収斂、唾液の分泌促進（認知症の予防）と口腔内ケアにつながり、コロナや流行性疾患による、のどの炎症、のどストレス緩和を想定しています。

【製品名について】

MINAMINA（ミナミナ）はアイヌ語のミナミナ（ニコニコする、たくさん笑う、という意味）を引用しました。

【その他の材料と成分について】

- ・ 白樺樹液 （低カロリー、フルクトース、キシリトールの前駆体）美深産
- ・ 甘草 （甘味を持つが低カロリー。グリチルリチン酸を含み、炎症を抑える作用）帯広産
- ・ ハスカップ （ビタミンと酸っぱさが口腔内のケア、唾液の促進に役立つ）苫小牧産
- ・ てんさい糖 （良質なたんぱくから採取した糖質。血糖値の急速な上昇を緩和） 帯広産

【容器のデザインについて】

缶ふたの文様は津田命子さんにデザインして頂きました。

国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）の壁面にアイヌ文様や、丸井今井札幌本店の紙袋のデザインを手掛けるなど、アイヌ刺しゅう文様研究の第一人者です。

アイヌ文様研究で学術博士号取得。平成 30 年度文化庁長官表彰授与。

【飴の製造について】

大正 7 年創業、100 年以上続く小樽の飴専門店、飴谷製菓株式会社のご協力を頂きました。

【産学連携について】

人々の健康・福祉の増進に寄与することを目的に設立された、北海道科学大学「北の大地ライフサイエンス創生研究所」と協力し、成分調査、キハダ活用の歴史、先住民文化、キハダ植生等の共同研究を実施いたしました。

【販売概要】

- ・販売日：2021 年 5 月上旬予定
- ・販売場所：
 - ・イベント 5 月 14 日（金）～16 日（日）「フェアトレードマルシェ」
丸井今井札幌本店 大通館 3F YORIAL Market
 - ・さっぽろ時計台 商工会議所 「北のブランドショップ」5 月上旬販売予定
札幌市中央区北 1 条西 2 丁目経済センタービル 1 階
 - ・国立アイヌ民族博物館ミュージアムショップ
北海道白老郡白老町若草町 2 丁目 3-1
 - ・当社オンラインショップ (<https://stmonica.info/shop/>) ほかに随時発表。
- ・道外催事 : 名古屋高島屋・博多阪急 5 月予定

【販売者・お問い合わせ先】

(株)The St Monica(セントモニカ)

代表取締役 七戸千絵

住所：〒064-0802 北海道札幌市中央区南 2 条西 26 丁目 1 番 1 号-108

TEL：011-213-7572 （担当七戸携帯 090-1405-1117）

E-mail：info@stmonica.info

赤ちゃんから使える国産馬油と道産白樺樹液を使った「天然馬油保湿クリーム」や美深産「白樺樹液」ドリンク、石狩産ハマナスを使ったコスメ、道産ハッカ・ラベンダー使用のマスクスプレーをなど、肌の弱い人も使えるよう、お肌へのやさしさと北海道素材にこだわったコスメを開発・販売しています。

北海道歌志内育ち、薬剤師 国家公務員共済組合連合会斗南病院薬剤部勤務・夫の仕事で東京へ転居退職。お産で内蔵破裂を経験し薬剤師の知識と人に寄り添う商品開発を開始。東京北区赤羽一番街空き店舗事業「赤ちゃん八百屋」の運営、東京都北区女性のための起業家セミナーにより 2005 年個人事業主開業・2010 年札幌で法人化 現在 4 名の主婦友と、子育て・介護の両立でシフトを組み、コロナ禍励ましあいながら業務を遂行中。